

今ハな―玉記ハ大浦城ヲ又尾浦城ヲモ
小寺氏曰ハ城の経略ハ詳ナリ天正十二
年オモテ武蔵郡持之同十二年系勝庄内ト
領―テ城代を至嘉永長又年三上御光ニシテ
其時系勝の城代松中伝洪ハ城を焼テ討
死セト云ク又一説ハ武蔵系頼より節氏
を二十代トモテ予算ハに十九代ナリ一代
脱モヤモモ内大梵寺ト名ス―モ二三人
ありたゆハに常ハ二城ハ一郡士を盡テ
盡ス―ハ大梵寺ハ大山より寺官をとり

されモ時ト―テ婦子抱を盡テ城を盡ス―
め―ト事トあり―モヤモモ古俗大梵寺ハ
トハ稱―リヤモ又武蔵郡の内出羽守ト
い―百五人ありモ郡根ハ戒名抱ハ稱ト―
モ古俗王法を盡スハ呼モ事トモテ宮下ハ
半トハ人モ出羽守ハ一國の長上モ武蔵
郡ハ郡縣の地頭モ其職モ白の遠ハナリ
古俗是を盡スモ今モ地頭を稱―テ西司
とたゆ―モものありハ系郡の式目―國司
領事モ叙友關東口入半ハ右衛門左衛門